



● 草の根協力支援型

2017年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ウズベキスタン
2. 事業名	リンゴ栽培の改善と農家への普及プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	対象地域では農業が主要産業になっており、園芸農業が進められている。しかしながら、リンゴ栽培については、近代的な技術が導入されておらず、地域に流通している輸入物果実に対して、品質が劣っており、地元産果実の取引価格は低く、農家の収入向上に結び付いていない。この状況に対し、前プロジェクト（リンゴ栽培技術の近代化による農家の生計向上事業）では今回の事業の対象となる2大学と協力し、大学スタッフに対し、実践的な研修の実施、現地での農家に対する剪定指導、大学でのモデル園の開園、モデル園における近代的な技術の導入を行った。今後は、現地において農家レベルでの効果を出すために、導入した技術の定着を図るとともに、農家への技術普及が望まれている。
4. プロジェクト目標	摘果・選定を中心とした近代的なリンゴ栽培技術の普及が指導者層からリンゴ農家に対して行われる
5. 対象地域	タシケント州、サマルカンド州
6. 本事業の対象となる人々	直接受益者：リンゴ生産の普及に携わる農家および大学関係者（8名） 間接受益者：リンゴ栽培技術普及を受講するリンゴ生産者（500名）
7. 事業活動と期待される変化	<アウトプット> 1. 摘果・選定を中心とした近代的なリンゴ栽培技術が移転される 2. 果樹の生育ステージを通じた技術協力によりに双方の学び合いが行われる 3. 事業を通じた市民参加協力が推進される <活動> 1-1. 技術普及にかかわる大学スタッフ及び地域リーダー農家に対し本邦研修を実施する。 1-2. 現地のモデル園地やリンゴ園地において講習会を実施する。 2-1. モニタリング及び遠隔技術指導を行う。 3-1. 報告会（研究会対象） 3-2. 報告会（町民対象） 3-3. PR活動（インターネット、町広報）
8. 実施期間	2019年11月～2022年3月（2年5ヵ月）
9. 事業費概算額	1,000万円
10. 事業の実施体制	日本：藤崎町りんごわい化栽培研究会、藤崎町農政課、弘前大学農学生命科学部 ウズベキスタン：タシケント農業大学、サマルカンド農業大学、リンゴ生産者
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	藤崎町りんごわい化栽培研究会
2. 活動内容	リンゴのわい化栽培による良品多収を目指すための管理作業や栽培技術について、弘前大学や他団体と情報交換を行い、栽培技術の向上を図るための実習と研究を行っている。